



令和7年度 井之頭中学校 グランドデザイン

【校訓】 **自律 明朗 責任**

自らを律する自己指導能力、明るく朗らかな生き方、己の使命の自覚

【基本理念】 **「一人一人のこどもはかけがえのない存在である」**

【富士宮市の目指すこども像】

富士山を心に、夢をもって生きるこども

【本校の教育課題】

- ①コミュニケーション力
- ②主体的に行動する力
- ③見通しを持って取り組む力
- ④創造する力

【文部科学省】

第4期 教育振興基本計画

- 持続可能な社会の創り手の育成
- 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

【静岡県教育振興基本計画】

「有徳の人」の育成

～誰一人取り残さない教育の実現～

【学校教育目標】

主体的に学び 未来を拓く 活力あふれる生徒

【重点目標】 学び合い 高め合い 鍛え合い 郷土愛

【学校経営目標】 主体的に学び、仲間と高め合い、自分の考えを表現できる生徒の育成

P

井之頭小・中学校9年間で育てたい資質・能力

①探究力 ②思考力・判断力 ③創造力 ④コミュニケーション力 ⑤表現力 ⑥忍耐力 ⑦協働性 ⑧自己調整力 ⑨郷土愛

D

小中接続「いのかしらプラン」

【学び合い】

自ら学び、仲間と関わり合いながら、確かな知識・技能を身に付ける生徒

- ◆校内研修の充実①②③④⑤⑧
 - ・少人数授業における効果的な指導・支援（教師の伴走者としての役割、単元のゴール）
 - ・「学習リーダー」を生かした生徒主体の授業
 - ・チーム・ティーチングによるきめ細かな支援
- ◆言語能力等の育成①②④⑤⑦⑧
 - ・「学び合いのススメ」の効果的な活用
 - ・パワーアップ週間の計画的な実施
 - ・NIEタイムの計画的な実施
- ◆「井中屋」活動（希望の森学習）①～④
 - ・教科等横断的な学習（キャリア教育の一環）
- ◆ICTの効果的な活用①②③④⑧
 - ・一人一台端末の活用の日常化
- ◆小中合同授業研の推進①②③④⑤
 - ・公開授業参観・交流の日常化
- ◆学習評価の充実②⑧
 - ・授業改善の推進
- ◆家庭学習の充実①②⑧
 - ・タブレット端末の効果的な活用

【高め合い】

多様な考え方や生き方を認め、共生・協働の中で、互いに高め合う生徒

- ◆生徒主体の生徒会活動の創出②③④⑤⑦
 - ・委員会活動・自主清掃の推進
 - ・小中合同運動会
 - ・生徒の主体性・創意工夫が発揮できる取組
- ◆豊かな協働性の涵養④⑤⑦⑨
 - ・歴史・文化に触れる自然体験教室、修学旅行
- ◆キャリア教育の推進②④⑥⑦
 - ・福祉体験学習、職場体験学習、進路学習
- ◆特別支援（インクルーシブ）教育の充実④⑦
 - ・ユニバーサルデザインを生かした学習環境
- ◆道徳教育の充実⑦⑧⑨
 - ・考え議論する道徳、全校道徳の実施
- ◆人権教育の充実⑦⑧⑨
 - ・学校いじめ防止基本方針の確実な実施
 - ・多様性を認め合うLGBTQ+学習
- ◆読書・言語活動の充実②③④⑤
 - ・朝読書、ビブリオバトル（学校司書との連携）
- ◆他校との交流活動の推進①③④⑦⑨
 - ・西富士中との交流（教育の日）

【鍛え合い】

目標に向かって粘り強く取り組み、健やかな心と体を鍛え合う生徒

- ◆環境教育・森の活動の充実④⑦⑨
 - ・NPO法人等と連携・協力した植栽活動
 - ・希望の森を活用した「森の学習・森の活動」
- ◆小中合同学校保健委員会の工夫②③④⑦
 - ・9年間で育てたい健康意識の高揚
- ◆体力づくり、部活動の充実②④⑥⑦
 - ・新体力テスト・部活動における体力向上の取組の工夫
- ◆食育・健康教育の充実①③⑦⑧
 - ・栄養教諭との連携による食の安全学習
 - ・「井中屋」活動における衛生管理の習得
 - ・LEBERを活用した健康管理の徹底・把握
- ◆安全・安心な学校づくり②④⑦
 - ・様々な場面を想定した防災学習・訓練
 - ・思春期講座による「命」の学習
 - ・消防団等との連携・協働による命を守る取組
 - ・集団下校（不審者・災害・野生動物への対応）
- ◆基本的生活習慣の確立②⑧
 - ・感染症予防・新しい生活様式の日常化②



<企業体験「井中屋」(希望の森学習)> ①～④

- ◆教科等で身に付けた知識・技能を活用した教科等横断的な課題解決学習
- ◆会社として企画を立案し、自分と仲間の役割を自覚しながら取り組む協働的な活動
- ◆縦割り活動を通じて行われる継続的な探究学習
- ◆地域の人々との積極的な関わりを通して、地域の魅力発見と発信、地域発展への参画



【郷土愛】 積極的に地域と関わり、地域への思いを心に生きている生徒

- ◆保小中との連携・接続 小中推進部会（年6回）、小中学校事務の連携・協力体制の日常化
- ◆積極的な広聴・広報活動 学校だより・HPの充実、授業参観・懇談会等の実施、LEBER・メディア等の効果的な活用
- ◆地域行事への参加・協力②⑦⑨ 陣馬の滝祭り、各区の祭典、敬老会、防災訓練への主体的な参加 等
- ◆地域資源・人材等の活用⑦⑨ 井中屋、教育の日、マス釣り大会、希望の森を育てる会、ホテルの生育、森の学習・森の活動 等
- ◆学校運営協議会の推進 地域の人々との協働体制の構築、地域学校協働活動の計画的な実施

C

様々な視点からの評価・検証

（短いスパンでのPDCAサイクルの実施）

・学校運営協議会

・PTA運営委員会

・小中接続4部会

・職員会議

・学校評価

・研修アンケート

・行事振り返り

・いじめアンケート

【確かな学力の育成】

- ①探究力[生95%・保 95%]
- ②思考力・判断力[生95%・保 95%]
- ③創造力[生 90%・保 95%]
- ④コミュニケーション力[生90%・保 90%]
- ⑤表現力[生90%・保 90%]
- ⑥忍耐力 [生90%・保 90%]
- ⑦協働性[生100%・保100%]
- ⑧自己調整力 [生90%・保 90%]

【豊かな心の育成】

【健やかな心身の育成】

【小中・地域連携の推進】 ⑨郷土愛[生100%・保100%]

A

小・中接続「いのかしらプラン」の推進

- ☆小・中学校9年間の円滑な接続による「探究的な学び」の実現と豊かな人格形成
- ☆「学習リーダー」を生かした生徒主体の授業づくり（発達段階に応じたスキルの定着）
- ☆異年齢交流活動におけるコミュニケーション力・主体性・自己肯定感等の涵養
- ☆保護者・地域と小中間で育てたい資質・能力の共有化と協働体制の構築

R7
魅力ある
学校づくり

【デジタルとリアルとの組み合わせによる個別最適な学びと協働的な学び】
【主体的に学び、協働や対話を通して、考えや理解を深め合う生徒】